

韓国大統領 李明博 殿
駐大阪韓国総領事 金碩基 殿

**韓国政府は済州海軍基地建設を即刻中断せよ！
韓国政府は住民弾圧と海外の平和活動家に対する不当な入国禁止措置を即時撤回せよ！**

済州海軍基地建設の即時中断を求める本日の抗議行動の冒頭に、われわれはまず、9月3日、9月5日に連続して起こった米国、沖縄、日本「本土」からの計5人の平和活動家の韓国入国拒否、並びに、今日午前江汀（カンジョン）現地での起こった活動家5人の逮捕を徹底的に弾劾するものである。

今日2012年9月6日から9月15日の日程で、韓国済州道西帰浦市の済州国際コンベンション・センターにおいて国際自然保護連合（IUCN）の第五回世界自然保護会議（WCC）が開催される。この会議は韓国環境省を含む多数の国家機関や民間NGOの参加のもと、「Nature+」（ネイチャープラス）を総テーマに、生物多様性、気候変動、食糧安保、社会的経済的開発などについて話し合うとされている。しかるに、その会場からわずか7キロ先の西帰浦市内の江汀村では、韓国政府・韓国海軍によって自然環境を大々的に破壊する海軍基地建設が多数の住民・支援者に対する弾圧ともなって連日強行されている。われわれは、自然環境と住民の生活を破壊し、東アジアの軍事緊張を高めるこの海軍基地建設策動に反対し、WCC 会議期間中に海軍基地建設に反対する国際連帯行動をという江汀現地からの呼びかけに応じて、今日この場に集まった。

江汀沖は、韓国文化財庁が指定した「国指定の文化財」であり、ユネスコが指定した生物圏保護区である虎島に隣接している。海岸線に広がる一枚岩であり、さまざまな希少生物が生息するクロムビ岩は済州道によって絶対保全地域の一部とされてきた。また、江汀村では先史時代以来の済州島における住居文化の変遷をみることができる遺構が発見されており、そうしたことから済州海軍基地建設計画が立案されるまで、済州道当局により開発制限区域に指定されてきた経緯がある。しかしながら、韓国政府・韓国海軍はこうした貴重な自然環境・自然遺産を破壊して、基地建設を強行している。江汀の住民たちは「韓国政府と済州特別自治道が済州海軍基地建設工事を強行しておりながら済州特別自治道を世界の環境首都として宣伝することは、世界中の市民を欺くこと」と指摘しているが、まったくその通りだ。

済州海軍基地建設はまた、村落共同体を破壊し、東アジアにおける軍事緊張を一方向的に高めるものだ。そもそも江汀住民は、2007年の突然の海軍基地建設決定に対して、ただちに正式な住民投票を実施し、投票者の94%が海軍基地反対の意思を明確に示した。にもかかわらず、韓国政府・済州道当局と韓国海軍は様々な手段と裏工作を弄して、基地賛成派を育成し、村民のなかに分断と対立を持ち込み、それを拡大してきたのだ。また、米軍が共同使用することを前提として建設される済州海軍基地は、中国と朝鮮民主主義人民共和国に対する軍事的包囲と威嚇を焦点とした米軍のアジア軍事戦略のなかに組み込まれ、東アジアの軍事的緊張を飛躍的に高めるものになっている。われわれは、朝鮮半島と東アジアの平和を阻害するこの海軍基地建設の即時中断を求め、米日韓の軍事協力の強化と三国軍事同盟の形成に向けた一切の動きに反対する。

われわれはまた、韓国政府・韓国海軍による江汀住民や支援者に対する不当な逮捕・長期拘留・損害賠償請求など拡大する弾圧・人権侵害を弾劾し、あわせてアジア共同行動日本連絡会議を含む海外からの平和活動家への韓国入国禁止措置をただちに撤回することを韓国政府・法務省に繰り返し要求する。このような弾圧は済州海軍基地建設の不当性と不正義を自ら暴露するものだ。われわれは、江汀の住民・支援者のたたかいに連帯し、東アジアの平和実現と米軍の一掃に向けたわれわれのたたかいの切り離せない一部として、済州海軍基地建設中断のためのたたかいを日本から今後もさらに強力に推進していく。韓国政府は自然環境と村落共同体を破壊し、東アジアの平和に敵対する済州海軍基地建設を即時中断せよ！住民弾圧と海外平和活動家に対する不当な入国禁止措置を即時撤回せよ！

済州海軍基地建設反対国際行動週間の呼びかけに応じて

2012年9月6日

アジア共同行動日本連絡会議
済州海軍基地建設反対！9・6韓国領事館抗議行動 参加者一同